



2013～14 年度
国際ロータリー会長

Ron D. Burton

Weekly Report Niigata



2013～14 年度
新潟ロータリー会長

山本 正治



ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

2013～14 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 9 月第 1 例会 (2013.9.3) No.3007

(1) 「君が代」 斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」 斉唱

(2) 山本 正治会長挨拶

9 月は「新世代のための月間」であります。この月間に因んで、今日は新潟ロータリークラブが独自に設置した「青少年育成基金」について、私が知っている創設時の色々な出来事を紹介します。タイトルを「青少年育成基金誕生の秘話」とさせていただきます。

まずお話の導入部として、今から 20 年以上前の例会で私が体験したエピソードを紹介いたします。私がロータリークラブに入って間もない頃です。例会でお年寄り 3 人が話していたことを今でも覚えています。当時 30 歳代後半だった私にはお年寄りと感じたのですが、3 人は現在の私と同じ年格好だったのでしょう。「俺たちは戦前、甲子園に出場したよ。証拠の写真を撮ってある」。応援団で行った会員いわく、「俺が写真機を持って行ったから、証拠写真が今残っているんだ」。その晩 3 人が飲みに行き、写った 2 人が支払った“写真代（飲み代）”は高くついたとのことでした。

このエピソードと同じように、誰かが真実を残しておかなければ、過去のことは意識されずに忘れ去られます。いま私が語らねば、埋もれてしまう新潟ロータリークラブの歴史があります。それは創立 50 周年記念事業となった青少年育成基金誕生に関する秘話です。

1989（平成元）年度開始早々、創立 50 周年記念事業の実行委員会ができました。私もその 1 人に選ばれました。私の役目は記念事業として植樹を検討することでした。当時は桜の記念植樹が流行っていましたが、植樹する場所のことで県や市、国の出先機関と交渉を重ねました。しかし植樹する場所にはそれぞれの管理区分があると分かりました。例えば信濃川の上流と下流（港湾）で違います。また堤防部分と道路で管轄が違うので、関係省庁の了解を取り付けることは大変でした。また新潟市や新潟駅への記念碑の贈呈も考えましたが、掃除の邪魔になるのももっても迷惑とのことでした。

悩んだ揚げ句、ある会員に相談したところ、「これからの時代は青少年の育成かも？」と何気なく囁きました。私はこれを聴き、これならクラブ会計の繰越金を使い果たした責任を問われないと確信し、計画書にまとめ、さっそく理

事に提案しました。当時の会長が言った言葉を今でも忘れません。「右のポケットのお金を左のポケットに移すだけだね」と。

その後、ある会員から多額の寄付をいただきました。青少年育成基金が新潟ロータリークラブの個性輝く素晴らしい奉仕活動に成長するきっかけとなりました。心から感謝しています。

第 1 回目の表彰はポナペ島の青少年に対する教育補助に決まりました。私の知り合いの牧師が、過去 20 年以上にわたってポナペ島に学校をいくつか建築し、島の若者に教育を受ける場を提供してきました（注：ポナペ島はミクロネシア諸島の一つ。戦前は日本の委任統治領）。理事会に提案したところ、満場一致で決定されました。そこで 50 周年記念式典（1990（平成 2）年 4 月 21 日）には、牧師とともに現地の先生をご招待して表彰することになりました。

記念式典の前日、現地の先生方と表彰式の手順について打ち合わせをすることになっていましたが、彼らはまだ来日していないことが判明しました。そこで私が国際電話をかけたところ、威勢の良い返事が返ってきました。「ハイ。今自宅にいるよ。皆さんによろしくね！」。これでは、らちが明かないと観念し、件の牧師に相談したところ、「明日の式典には、今日本にいるミクロネシアの大学生を至急呼ぶから」との返事。彼らが会場に到着したのは表彰式の直前で、間一髪でことなきを得ました。彼らは表彰式、記者会見を無事こなしましたが、私にとっては冷や汗ものでした。

つつがなく第 1 回の記念事業を終えた私は、翌年 1990（平成 2）年度に青少年奉仕委員長に昇格しました。私が人生で一番輝いていた頃のエピソードです。

ロータリークラブには、インターアクトクラブやロータリーアクトクラブなどの青少年育成を目指した活動がありますが、国際ロータリーがこれらの活動をまとめて新世代奉仕としたのは 2010（平成 22）年でした。なお 2013 年 4 月の規定審議会で「青少年奉仕」と名称が変更されたことを付け加えておきます。

新潟ロータリークラブは、20 年前からその重要性に気づき青少年奉仕活動を行っていたこととなります。先見の明があったと自画自賛しています。個性輝くロータリークラブとなるために、これからも青少年育成活動に持てる力を注ぎたいものです。

(3) 米山奨学生劉 天萍さん挨拶・奨学金贈呈

(4) 100%出席バッチの贈呈

横山 芳郎君 25年

(5) 誕生日お祝い贈呈(11名)

(6) 結婚記念日お祝いの紹介(7名)

(7) 委員会報告

- ・前年度決算報告 宇尾野隆 直前幹事
- ・監査報告 高橋康隆 前年度監査役
- ・桑原社会奉仕委員長

9月8日に開催いたします「あしなが事業」には会員事務局あわせて13名、交通遺児のご家族が15名、合計28名の参加を予定しております。ご参加の方は 10:15新潟駅南口にご集合願います。

(8) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(得永 哲史委員)

五十嵐幸雄君

青少年育成基金寄付発表(山田 隆一副委員長)

本間 彊君 高橋 義明君

(9) ニコニコボックス紹介(関森多市郎委員長)

- ・本間 剛三君 初めてニコニコします。長男に初孫男子誕生。
- ・渡辺 洋一君 今月は私の誕生日(9/19)です。合わせて結婚記念日(9/10)が重なりました。すばらしいプレゼントに感謝してニコニコします。
- ・山田 眞君 ステキな女性達(ゲストスピーカー)をお迎えしてニコニコします。

(10) 幹事報告

10月1日例会終了後に指名委員会を開催致します。

(11) 卓話「新潟から元気を発信！ガールズグループによる地域発信とは」

新潟ガールズグループ Lily&Marry's



9月3日 理事会報告 出席者11名

- 1 会長選考委員会の設置について
クラブ細則に基づき、次々年度会長、次年度役員、次年度理事の候補者指名委員会を10月1日に開催することを承認する。
- 2 2012～13年度決算について
宇尾野前年度幹事から決算の報告がなされた。
本日の例会において決算報告（宇尾野前年度幹事）、会計監査報告（高橋康隆前年度監査役）を行う。
- 3 IM、地区大会の登録状況
登録状況について報告。
- 4 9月のプログラム＝承認
9月 3日 卓話「新潟から元気を発信！ガールズグループによる地域発信とは」
新潟ガールズグループ Lily&Marry's
9月10日 会員スピーチ「リスボン報告」
日電商会 相談役 鈴木 滋弥君
9月17日 会員スピーチ「ICT の利活用で地域を元気に」
NTT 東日本理事 新潟支店長 佐野晃之君
9月24日 夜例会（ローターアクトを招待する）
- 5 その他
職場訪問の準備状況について報告。

(12) 本日の出席率 77.91 %

(2週間前メーク後 91.67 %)

9月10日の例会予定

会員スピーチ「リスボン報告」

日電商会 相談役 鈴木 滋弥

新潟ロータリークラブ会員専用ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

会員専用ページログイン情報

ユーザーID niigata

パスワード rrcrc